

住宅用火災警報器は10年を目安に取り替えましょう！！

住宅用火災警報器の寿命は約10年です。



電池寿命が10年の住宅用火災警報器は、電池切れの時期になってきます。古くなると電子部品の寿命や電池切れ等で火災を感知しなくなることがあります。10年を目安に取り替えましょう。

設置時期を調べるには

- 1 住宅用火災警報器を設置したときに、本体に記入した【設置年月】を確認する。
- 2 住宅用火災警報器に記載されている【製造年】を確認する。

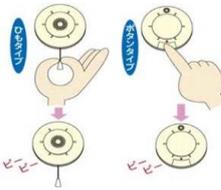


製造年月：2007年9月

作動試験の方法は

ボタンを押す、又はひもを引いて作動確認をしましょう。

⇒正常な場合は機種によって異なりますが「ピーピーピー」や「ピー ピーピー火事です」等の正常をお知らせするメッセージ又は警報音が鳴ります。



⇒音が鳴らない場合は電池がきちんとセットされているか、確認してください。それでも鳴らない場合は、電池切れか機器本体の故障です。取扱い説明書をご覧ください。



新しい住宅用火災警報器を交換したら

住宅用火災警報器の側面等に、油性ペンで設置年月日を記入しましょう。